



平成28年5月13日
四国地方整備局

四国地方整備局入札監視委員会第一部会の 審議概要について

四国地方整備局入札監視委員会第一部会は、平成27年度第4回定例会議を下記のとおり開催しました。

審議内容は、四国地方整備局(港湾空港関係は除く)が平成27年10月から平成27年12月までに発注した工事、建設コンサルタント業務等及び役務・物品の中から委員が無作為に抽出した6件の入札・契約手続に関する事項について審議を行いました。

その審議概要は別添のとおりです。

記

開催日 平成28年3月30日(水)
場 所 高松サンポート合同庁舎 13階会議室

問い合わせ先

高松市サンポート3番33号 電話 087-851-8061(代表)

四国地方整備局入札監視委員会事務局

主任監査官 山下 安一 (内線2114)

契約管理官 山田 久男 (内線2222)

技術開発調整官 石田 和敏 (内線3120)

別添

四国地方整備局 入札監視委員会第一部会第4回定例会議 審議概要

開催日及び場所	平成28年3月30日(水) 高松サンポート合同庁舎 13階会議室					
委員(部会委員5名)	部長 山中 英生(徳島大学大学院教授) 委員 石川 千晶(公認会計士) 委員 五艘 隆志(高知工科大学准教授) 委員 柴田 潤子(香川大学大学院教授) 委員 白井 一郎(弁護士)					敬称略 委員は50音順
審議対象期間	平成27年10月1日～平成27年12月31日契約分					
審議案件	総件数 6件(工事3件、建設コンサルタント業務等2件、役務及び物品1件)					
	入札方式	件名	契約の相手方	契約金額(千円)	入札者数	落札率(%)
工事	一般競争(政府調達協定適用対象工事)	平成27-29年度 榎瀬川水門新設工事	大豊建設(株)	678,564	4	89.89
	一般競争(政府調達協定適用対象工事以外)	平成27-28年度 豊益地区陸閘ゲート設備(その1)工事	日立造船(株)	288,360	2	99.12
	一般競争(政府調達協定適用対象工事以外)	平成27-28年度 五台山第2高架橋下部工事	オリエンタル白石(株)	262,440	1	97.81
建設コンサルタント業務等	簡易公募型競争	平成27-28年度 山鳥坂ダム猛禽類調査業務	(株)四電技術コンサルタント	32,400	2	92.22
	簡易公募型プロポーザル	平成27年度 四国管内雪氷対策検討業務	パシフィックコンサルタンツ(株)	14,990	1	99.71
役務及び物品	一般競争	平成27年度 野村ダムネットワーク設定変更外作業	都築電気(株)	4,320	1	86.21
報告事項	①談合情報等の対応状況 ②再度入札における一位不動状況・低入札の発生状況 ③指名停止状況					
委員からの意見質問、それに対する回答等			別紙のとおり			
委員会による意見の具申又は勧告の内容			特になし			
備考						

1. 抽出案件の審議概要

(1)一般競争入札(政府調達協定適用対象工事)	
意見・質問	回 答
<p>平成27～29年度 榎瀬川水門新設工事</p> <p>工事を2期に分けた理由は何か。</p> <p>5者中1者だけが適正価格であり、現場管理費等各社に開きがあったがその理由は何か。</p> <p>辞退の理由は聞いているか。</p> <p>仮設工事と水門本体工事は同じ業者か。</p>	<p>仮設工事と水門本体工事で分けている。工事期間や予算の割り振りにより一体発注できなかった。</p> <p>率計算のものや、積み上げのものがあり、各社の考え方の違いで開きがでたと考えられる。</p> <p>配置予定技術者が、他の工事を受注した関係で辞退したと聞いている。</p> <p>違う業者である。</p>
(2)一般競争入札(政府調達協定適用対象工事以外)	
意見・質問	回 答
<p>平成27～28年度 豊益地区陸閘ゲート設備(その1)工事</p> <p>1者であっても加算点、施工体制評価点の判定評価を行う必要があるのか。</p> <p>入札参加者が1者と少ない現状についてどう考えているか。</p> <p>自動閉鎖式の構造については、国交省が設計したものか、メーカーが作成したものか。</p> <p>自動閉鎖式の構造の信頼性はどの様に確認するのか。</p>	<p>参加資格のある者全てについては、品質確保の実効性と施工体制確保の確実性等の評価を行っている。</p> <p>同種工事の実績について63者確認していたが、参加者が少ない理由は不明である。</p> <p>今回の説明時に示した自動閉鎖式の構造については、平成26年度の工事により受注業者の設計したものであり、国交省から指定したものではない。</p> <p>平成26年度については、工場を確認した上で現地確認を行った。</p>
<p>平成27～28年度 五台山第2高架橋下部工事</p> <p>1者入札の理由についてどう考えているのか。</p> <p>入札者が少ないことは想定していたか。</p>	<p>基礎型式が、実績の少ない小断面ニューマチックケーソン工法であり、現場条件も厳しく、施工効率が上がらない等が考えられる。</p> <p>発注規模から原則C等級のみとするところであるが、実績を有した者が少ないと想定できたため、B等級も参加可能となるよう参加資格要件を広げる対策を行った。</p>

(3)簡易公募型競争入札(建設コンサルタント業務等)	
意見・質問	回 答
<p>平成27-28年度 山鳥坂ダム猛禽類調査業務</p> <p>技術評価点の中で、業務理解度等で点数の開きが大きい がその理由は。</p> <p>調査はこれまでも行っているか。</p> <p>同じ業者が行っているのか。</p> <p>入札参加業者は、過去の調査データは、確認できるのか。</p>	<p>個体の識別及び個体の行動範囲の把握調査を的確に行う 必要があり、調査手法等を細かく記載している者の点数が 高くなった。</p> <p>10年以上前から継続して行っている。</p> <p>過去数年は、同一業者が行っている。</p> <p>入札説明書で閲覧資料として記載しており、確認できる。</p>
(4)簡易公募型プロポーザル(建設コンサルタント業務等)	
意見・質問	回 答
<p>平成27年度 四国管内雪氷対策検討業務</p> <p>同種業務、類似業務は何社くらいいたのか。</p> <p>他地整でも同種の検討を行っているか。</p> <p>凍結防止剤の散布方法を変えて試験を行っているのか。</p> <p>車両による調査方法は外でも実績のある方法か。</p>	<p>同種業務12者、類似業務25者は確認した。</p> <p>それぞれ雪氷に対する管理基準が違うのでそれぞれの地 整で行っている。</p> <p>目的が、「凍結防止剤散布等の手引き」に基づく散布方法 の検証であることから、手引きにもとづく散布を行った。</p> <p>調査に使われる車両はリースされており、実績のある方法 である。</p>
(5)一般競争入札(役務・物品)	
意見・質問	回 答
<p>平成27年度 野村ダムネットワーク設定変更外作業</p> <p>落札業者は、当初機器を納入した業者か。</p> <p>何社くらい参加業者を見込んでいたのか。</p> <p>迅速なアフターサービスとは具体的にどういうことか。</p> <p>役務名をネットワーク設定変更外作業とした理由は。</p>	<p>違う業者である。</p> <p>同種の実績では、7者を確認していた。 類似の実績は、国土交通省以外の実績も可としており、対 象が1万社を超えることから明確な数は確認出来ていな い。</p> <p>四国管内にサービス拠点があり、迅速に駆けつけること である。</p> <p>ネットワークの設定変更が業務の主体であり、業務費の比 率も機器費より設定費が多いことからこの名称とした。</p>

2. 談合情報等の対応状況について

意見・質問	回 答
特になし	

3. 再度入札における一位不動状況(「価格が最低である業者が、当初入札時と同一となる案件」の発生状況)、低入札の発生状況について

意見・質問	回 答
特になし	

4. 指名停止状況について

意見・質問	回 答
指名停止期間のスタートの決め方はどうなっているのか。	県からの情報や新聞からの情報を収集し措置要領のどこに該当するのか判断し、本省の了解を得て実施している。
後から分かった場合はどうなるのか。	行為に対し判断しているため、自主申告されても措置内容は変わらない。

5. 全体について及びまとめ

今回の審議案件6件のうち3件が有効な入札が1者という状況であった。競争性を確保する上で色々と入札の状況を工夫しており今回の案件では大きな問題は無かったが、今後とも競争性の確保について努力をし、不参加の業者の意見を聞く場を作っていると思われるので情報収集を進めてもらいたい。
--